

J PFP 国際人口問題議員懇談会

Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

No.6 October 2013

● 第9回アジア太平洋地域女性国会議員・大臣会議 「ジェンダーの平等」および「ポスト2015年開発アジェンダ」をテーマに開催

- ・ イエメンの8歳の少女が、40歳の男性と強制的に結婚させられ、新婚初夜に負った内臓の損傷が原因で死亡した事件が報道されました。
- ・ 2008年「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」に選ばれた同国出身の別の少女は、当時10歳で史上最年少の離婚訴訟に勝訴し、出版した自叙伝の中で、貧しさから親によって年上の男性と結婚させられ、家族にさえ守ってもらえない少女たちの現状を綴っています。
- ・ 全世界で約5000万人の少女が児童婚をさせられているといわれ、女性の権利が軽視され、女性が自らの意思で物事を決定することが困難な状況が続いています。このようなジェンダーの不平等は、「望まない妊娠」が減らない要因の一つとなっています。
- ・ また、若年妊娠と出産は、健康被害をもたらす可能性が高く、世界保健機構(WHO)によると、15歳～19歳の若い女性の主たる死因は妊娠に伴う合併症であり、20歳以上の妊娠に比べて死亡リスクが2倍高くなると言われています。

人口と開発に関するアジア議員フォーラム(AFPPD)では、人口問題を解決する上でジェンダー平等や女性の地位向上が非常に重要なことから、「アジア太平洋地域女性国会議員・大臣会議」を2003年から開催し、女性大臣・議員を中心にこの問題に取り組んでいます。今年5月に開催された第9回会議では「ジェンダーの平等」および「2015年以降の開発アジェンダ」をテーマに話し合いが行われました。

会議の中で;

堀部伸子 UNFPA アジア太平洋事務所長は、「国際人口開発会議(ICPD)行動計画を実施した成果はみられるものの、妊産婦死亡率の上位 10 か国のうち、アジアの国々が多数を占めている」とし、依然続く人口増加と先進国を中心とした出生率の低下、人口構造の変化、都市化といった新たな人口の側面が開発の重要な課題であるだけでなく、新たな機会となっている点を指摘しました。

阿部俊子外務大臣政務官(肩書きは当時)は、「リプロダクティブ・ヘルスと女性のエンパワーメントは、人口問題の成否に強く影響を与えるとともに人口問題の趨勢から強い影響を受けている。この相互作用的な性質を持つ課題に対処するには、各国・地域・地球規模で持続的・長期的に取り組むことが必要であり、そこにおいては国民の代表者である国会議員が、重要な役割を果たすことができる」と述べました。

会議は ICPD 行動計画(PoA)におけるジェンダーの平等と女性のエンパワーメントを達成に向け、各国の国会議員の責任を示した声明の採択で締めくくられました。



国際人口問題議員懇談会(JPFP)事務局
(公財) アジア・人口開発協会(APDA)

TEL: 03-5405-8846

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>

入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

次号は 2013 年 10 月後半に配信いたします。

尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。